



◆小寺 光信 議員



町税の収納率は

町長 昨年に引き続きやや改善

個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の収納率はやや改善した。

問 個人町民税の収納率は。

答 収納率は前年より0・38ポイント上昇し96・12%、現年分収納率は99・38%。収入未済額は、前年度比率より0・41ポイントの減。

問 軽自動車税の収納率は。

答 収納率は前年度比より0・91ポイント上昇し93・59%、現年分収納率は99・06%。

問 法人町民税の収納率は。

答 収納率は前年度比より4・24ポイント上昇し98・80%、現年分収納率は99・95%。収入未済額は、前年度比率より4・24ポイント減。

問 国民健康保険税の収納率は。

答 収納率は前年度比より0・27ポイント減少し78・59%、現年分収納率は前年と同率の97・78%。

問 固定資産税の収納率は。

答 収納率は前年度比より1・54ポイント上昇し92・75%、現年分収納率は98・91%。

答 令和2年度と同じ7名体制で兼務力で行っている。

企業誘致は

町長 多くの企業からの問い合わせ

東海環状自動車道の養老IC及び名神高速道路養老SICの開通により工場等の立地ポテンシャルが高まったことから進出相談が増えた。

問 工場適地候補地への企業進出状況は。

答 具体的にまとまったものはないが、多くの企業から問い合わせを頂いている。

問 企業誘致までの整備プログラムは。

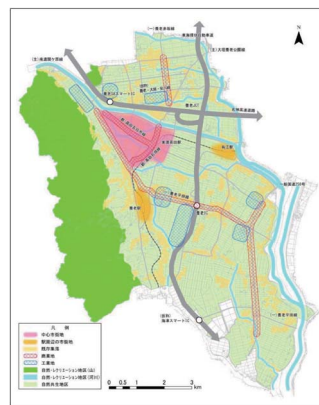
答 都市計画マスタープランの複数箇所、県の助成を受け、工場用地開発可能性調査を実施し、この中で候補地の事業化に向けた具体的なイメージや、事業費算出等を行っており、これらの基礎資料を基に、進出希望企業に対して、開発に至るまでのスケジュールや法手続きについて、丁寧に説明を行っている。

問 開発に伴う道路部の対応は。

答 開発による造成された道路は、道路法により認定を行う事が原則で、道路管理者が管理する。次に進出される企業が行う開発に制限が伴う事はない。

問 トップセールスはあるか。

答 積極的な企業誘致を行っている。



土地利用の方針による工場予定地

議会改革 特別委員会 商工会女性部 との意見交換会 ワークショップ誓

令和4年10月24日
午後1時30分より
養老町役場
4階大会議室にて開催

議会改革特別委員会では、町内の各団体の皆さんにご意見を伺う会を開催しています。今回は、商工会女性部の方にご参加いただきました。



A班テーマ
「後継者不足について」
様々な背景などがありなかなか解決できる問題ではないが、商工会や陸運局事業継続総合相談センターなどに相談しながら解決を図っていくしかない。
・同業者はライバルではあるが、後継者がいない場合は同業者で連携して助け合えるような制度があればいいと思った。

B班テーマ 「高田商店街の活性化について」

・高田商店街をお店の種類ごとにピックアップし地図に落とし込んだ。歴史的な古い建物を活用して商工会とタイアップして活性化できないか、また、高田まつりは出店



が並ぶため地域の商店がある程度分離されているように感じることを踏まえ、高田まつりの際に古い建物を活用してオープンできる施設の検討や、地域の商店も販売できるような体制づくりを検討してはどうか。
・月に1回でも空き地を活用して満月を見る会とかマルシェとかを開催すればいいのではないか。
・空き店舗を活用して地域の人や高齢者が集えるようなサロンを作ってはどうか。
・空き家対策、高齢者対策、まちの活性化にもつながる。
・空き地を駐車場として借りてイベント等を開催してはどうか。行政と連携しながら多くある空き地を駐車場として活用できないか。



C班テーマ 「縦割り行政について」

・デジタルとアナログの世代間ギャップをどう埋めていくかが課題。手助けだけの人を雇っていただきたい。
・テーマを絞らず全体会議として意見交換をすればより成果がでるのではないか。
・他団体との連携が少なく感じる。観光協会と商工会がタイアップして養老町を案内できるようなシステムになっしてほしい。養老に来たら滝など観光して、その後焼き肉や高田商店街を歩いてもらえるようになればより活性化につながると思う。
・商工会、観光協会、行政が連携して、町民憲章のように誇れるようなまちにしたい。



貴重なご意見が寄せられましたが、紙面の都合上割愛させていただきました。全てのご意見に寄り添い、関係機関と共に前に進めます。(委員長)

議会改革特別委員会

- 委員長…吉田 太郎
- 副委員長…清水由美子
- 委員…水谷久美子
- 田中 敏弘
- 早崎百合子
- 小寺 光信
- 副議長…大橋 三男
- 議長…野村 永一